

防災情報を手にいれましょう。



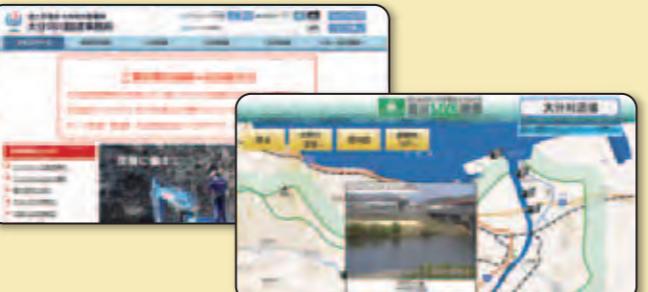
防災情報ホームページ

パソコンで、河川の状況をライブ映像で見ることや  
雨量や水位の状況を知ることができます。

【大分河川国道事務所】

<https://www.qsr.mlit.go.jp/oita>

大分川・大野川防災情報提供システムから  
洪水予報の発表や河川のライブ映像を提供。



【大分県】

<https://www.pref.oita.jp/>

おおいた防災ポータルから  
雨量・水位や道路・交通等の情報を  
入手できます。



【大分市】

<https://www.city.oita.oita.jp/>

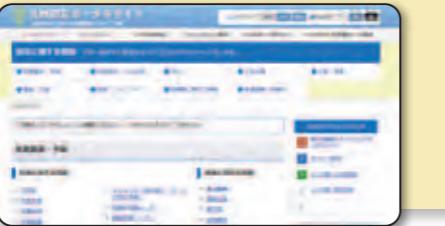
水害監視カメラの映像や防災への備え等、  
さまざまな防災情報を  
確認できます。



【九州防災ポータルサイト】

[http://www.qsr.mlit.go.jp/  
bousai\\_joho/kyusyubosai/](http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/kyusyubosai/)

気象をはじめ行政やマスコミ等の防災情報に  
アクセスできます。



九州内の防災情報サイト

事前に登録しておくと、  
災害時に防災情報をメールで知らせてくれます。

●九州地方整備局  
川の防災情報



[PC]  
<http://www.river.go.jp>  
[スマホ]  
<https://www.river.go.jp/s/>

●大分県  
県民安心・安全メール



e@bousai-oita.jp

●大分市  
大分市防災メール



entry@b-oita.jp



演習ガイド  
水害に負けない故郷へ  
～備えよう！守ろう！伝えよう！～

日時 令和4年5月15日 会場 大分県大分市元町地先（大分川左岸宗麟大橋下流河川敷）  
9:30～11:30 小雨決行



YouTubeで生配信！ 検索



国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

〒870-0820 大分市西大道1丁目1番71号 TEL.097-544-4167(代)

令和4年度

# 大分川 ・ 大野川 総合 水防演習 開催 概要

## 目的

洪水から地域を守る水防団(消防団)の活動の紹介や国、県、市、防災機関及び民間協力団体の災害時の連携・協力体制の強化とともに、地域の皆さんの防災意識を高めていただくことを目的に、毎年出水期を前に実施する総合水防演習が、今年は大分市の大分川で開催されます。

令和2年7月豪雨では、由布市と日田市で6名もの尊い命が奪われ、大分川でも氾濫が発生する等、大きな被害が発生しました。想定を超える水害が発生している今、いざという時、家族や地域を守るために、私たちは何をすべきなのか、総合水防演習を通して、しっかり学んでください。

## 主 催

国土交通省九州地方整備局、大分県、大分市

## 日時及び場所

- 日時 ・令和4年5月15日(日)
  - ・総合水防演習 9時30分～11時30分
  - ・サテライト会場 10時～15時
- 場所 ・総合水防演習 大分市元町地先(大分川左岸宗麟大橋下流河川敷)
  - ・サテライト会場 大分駅北口駅前広場

## 参加団体

大分市消防団(水防団)、別府市消防団(水防団)、臼杵市消防団(水防団)、竹田市消防団(水防団)、豊後大野市消防団(水防団)、由布市消防団(水防団)、陸上自衛隊第41普通科連隊、国土交通省気象庁大分地方気象台、大分県警察本部、大分中央警察署、大分県防災航空隊、大分市消防局、日本赤十字社大分県支部、大分県社会福祉協議会、大分市社会福祉協議会、(一社)大分県建設業協会、九州防災エキスパート会、大分大学 他

## 協 賛

全国水防管理団体連合会、(一財)河川情報センター、(公社)日本河川協会

## 実施内容

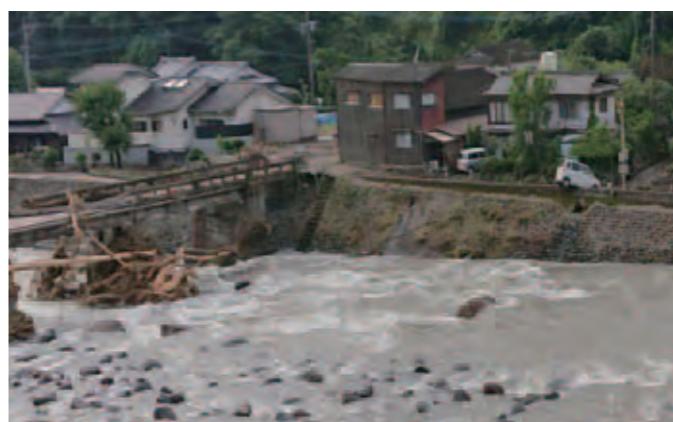
- 総合水防演習
  - 大規模な災害を想定し、事前行動計画(タイムライン)に基づいた情報伝達、各種水防工法、避難訓練、水難者救助訓練等
- サテライト会場
  - テレビ局キャスターによる防災トーク、大分市消防団パフォーマンス
  - 災害写真や最新防災機器等の展示、体験コーナー

## 演習想定

大型台風の接近により、集中豪雨が発生!  
大分川流域では大規模な災害発生の危険性が高まる!

大型台風の接近により活発化した前線の影響で、集中豪雨が発生。大分川周辺の市町村に大雨特別警報が発表され、甚大な被害が発生した令和2年7月豪雨を上回る出水となる恐れが。大分川では、越水や堤防決壊の危険性が高まり、大分川では大規模な浸水被害の発生により住民が孤立する。

## 令和2年7月豪雨の状況



## 総合水防演習の見どころ!

- 1 災害を未然に防ぐ  
多彩な水防工法の実演!

地元の水防団や建設業協会が的確で迅速な作業を披露。



- 2 防災機関による  
ヘリコプター等を用いた迫真的人命救助訓練!

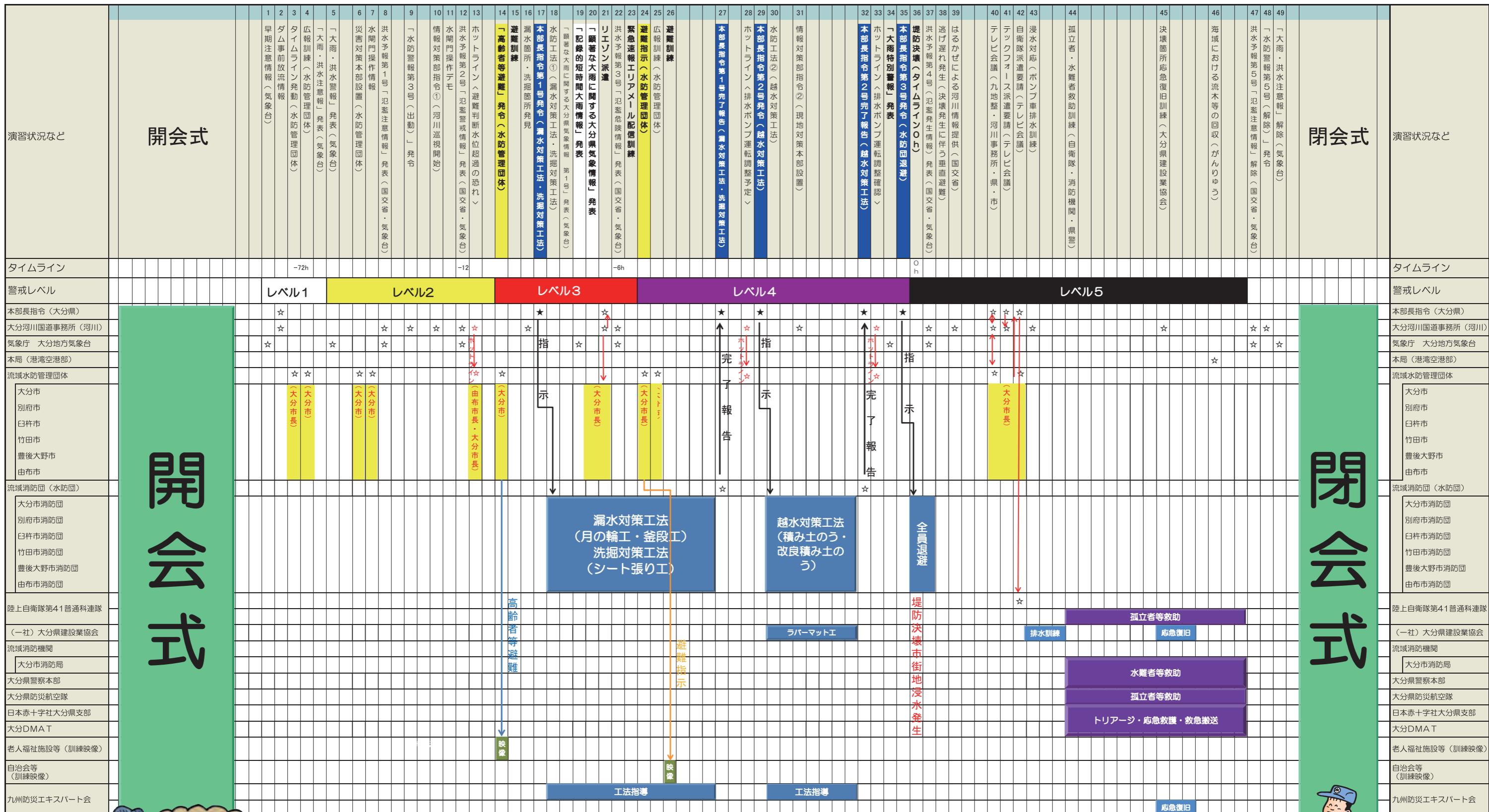
大分県防災航空隊、陸上自衛隊や消防機関、警察が連携し、人命救助訓練を実施。



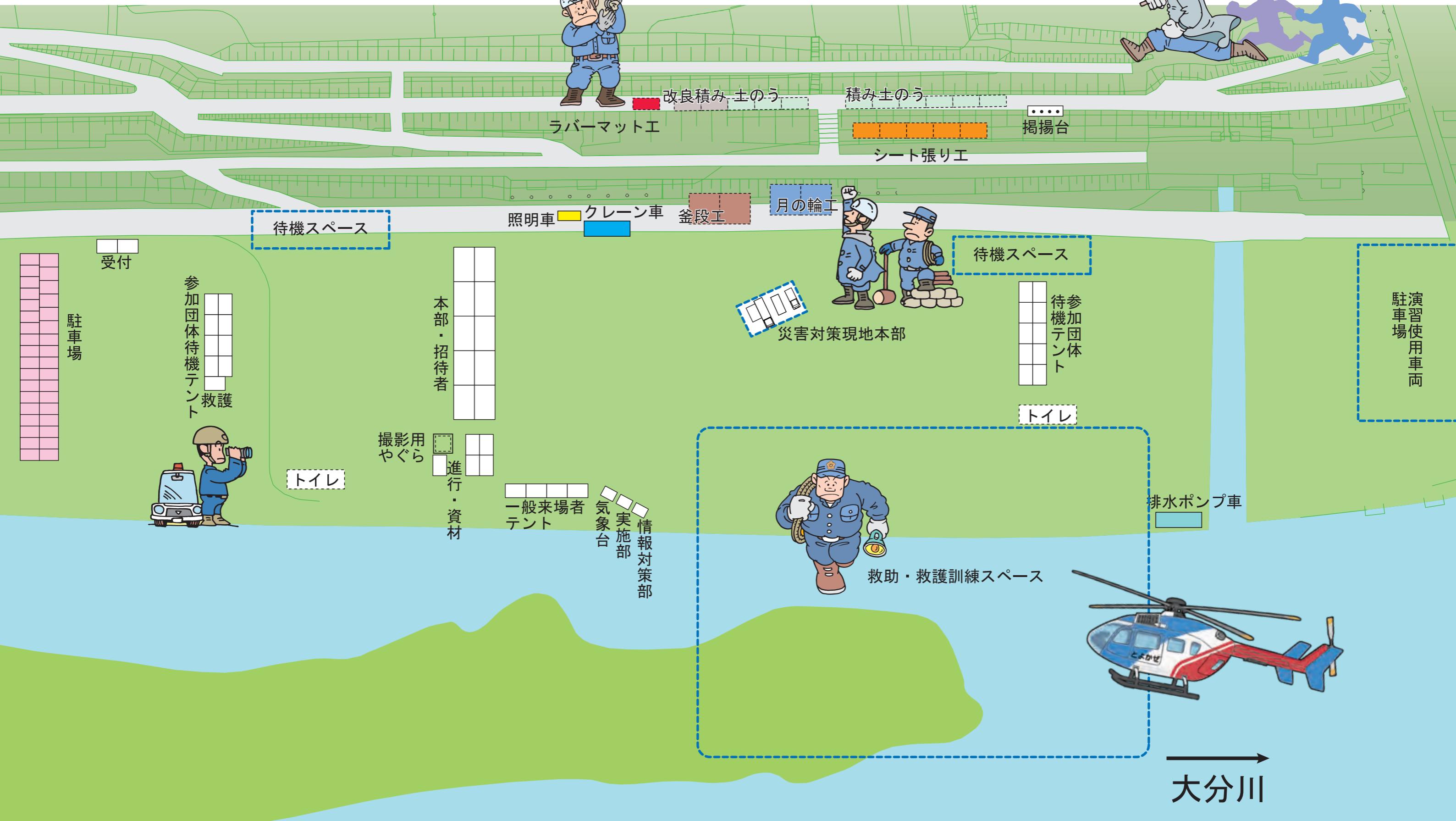
- 3 Youtubeによる  
生配信



令和4年度大分川・大野川総合水防演習 プログラム(進行表)



# 会場案内図

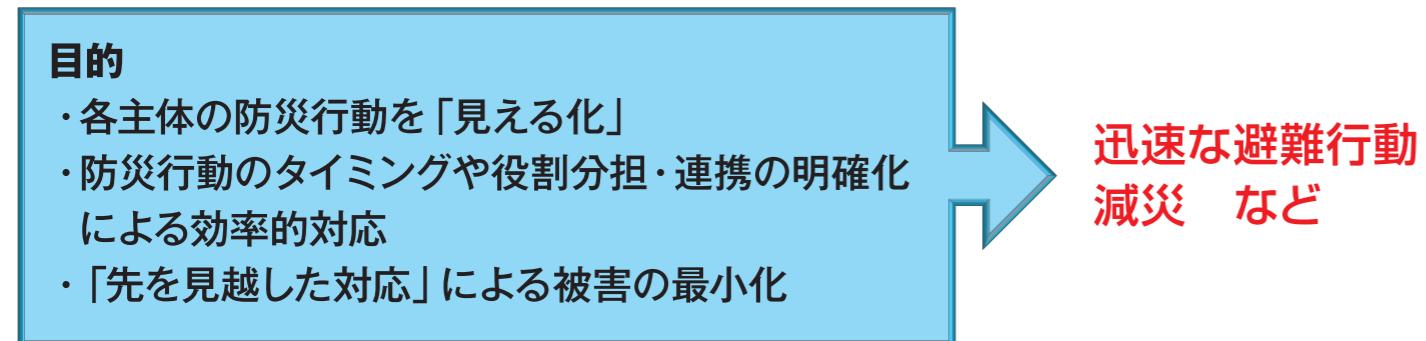


お願い

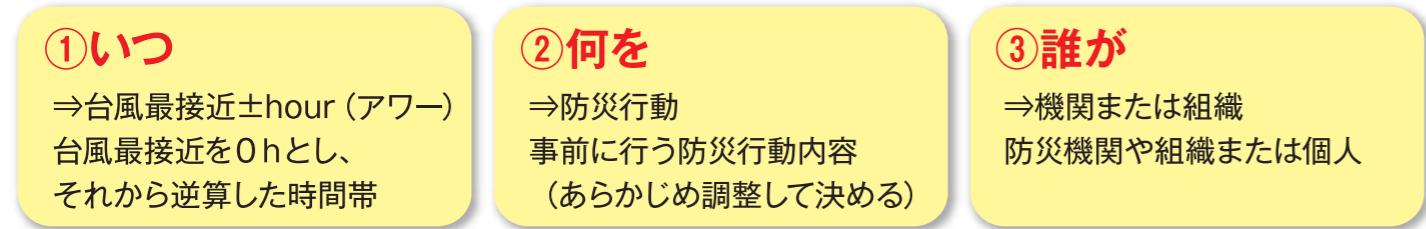
- ご来場の方は、バリケードを越えて訓練会場内に入らないようにしてください。
- 溝や段差などがある場所では、足元にお気をつけてください。
- 気分が悪くなった方は「救護」テントをご利用ください。

## タイムラインとは

タイムラインとは、事前防災行動計画のことで、災害による被害の発生を前提として、先を見越した対応ができるよう、「事前の意思決定」として策定されるものです。防災に関わる組織が連携し、事前調整を図り、災害に対して、それぞれの役割や対応行動を定めます。



- ### ●タイムラインを構成する3つの要素



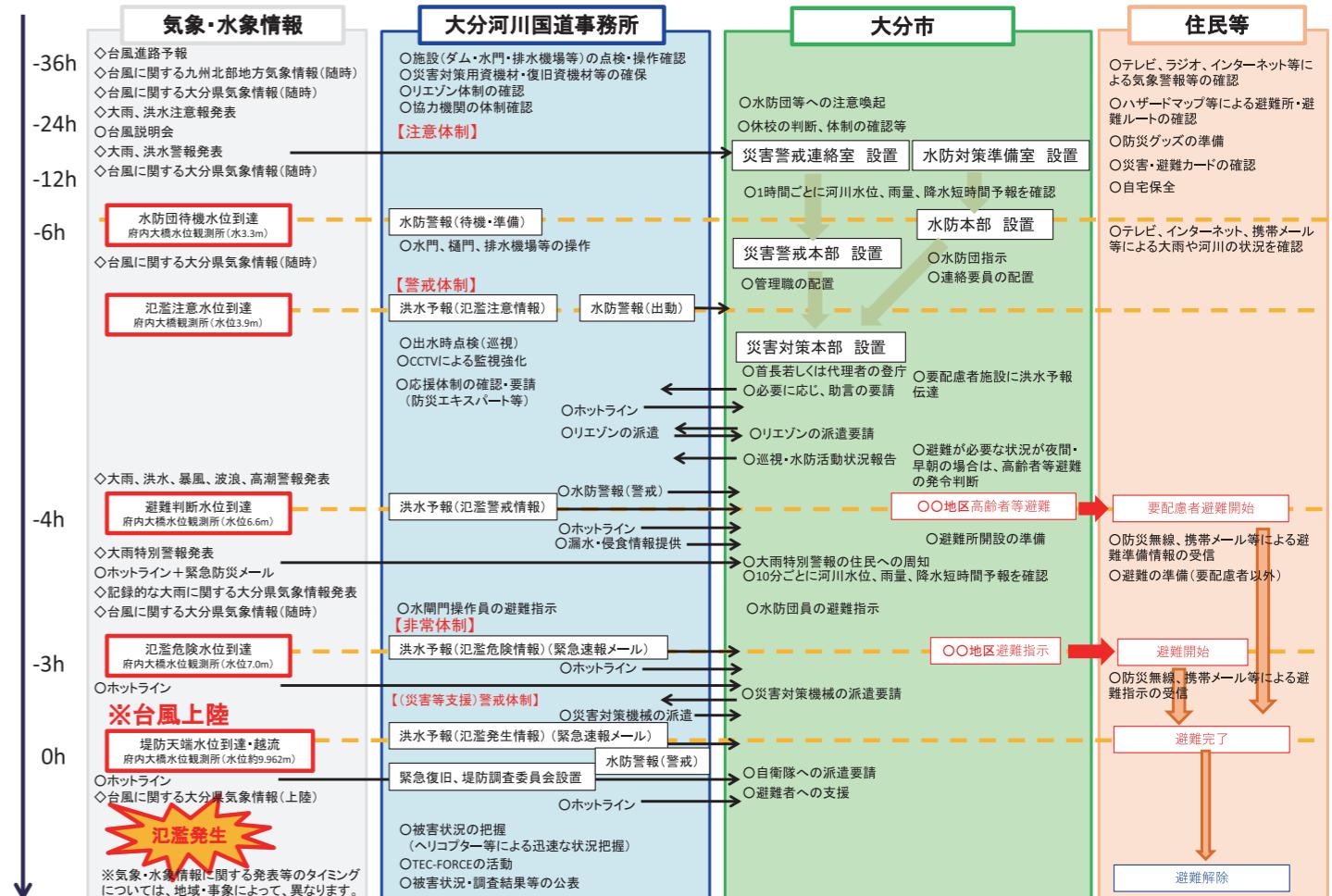
## タイムライン(事前行動計画)のイメージ(一部)

タイムラインの構築には、平時から防災機関が調整し、行動計画を定める必要があり、このことが組織間連携にも繋がる。

		行動	緊急支援機能(各機関の役割を事前に規程)																社会基盤		避難・住民支援								
		防災行動	予報・警報		水防・消防活動				交通輸送				危機管理				社会基盤		避難・住民支援										
基準時間		いつ	何を	気象台	国河川管理者	県河川管理者	水防管理団体	地方整備局	県河川	市区町村	水防団・消防団	道路管理者	海上保安庁	港湾管理者	警察	鉄道事業者	輸送業者	地方整備局	県防災	市町村防災	消防本部	地方整備局	地方運輸局	県建設部門	市町村防災	消防本部	自衛隊	警察	ボランティア
台風の上陸前	120-96 h	台風上陸に備えた準備・調整 避難所の開設準備							○					○				○			○			○					
	72-48 h	専門家・技術助言による連携・支援		○															○										
	72-48 h	地下鉄運行停止の可能性予告																											
	48 h	避難所の開設																	○					○					
	36 h	気象警報の発表 水防警報の発表 指定河川洪水注意報の発表	○						○										○		○								
	24-36 h	水防団出動 発令 市町村長による避難指示							○					○				○					○						
	24-12 h	地下鉄運行停止、地下街閉鎖												○				○											
	12 h	特別警報の発表 市町村長が高所避難を呼びかけ	○						○									○					○						
	12 h	高潮によるはん疊発生	○															○					○						
	6-0 h	水防団、警察、消防の退避勧告							○																				
台風最接近	+3-12	救助・救護・応急資機材投入							○				○					○			○			○					
	+24	排水作業・応急復旧							○				○					○			○			○					

**大分川** 台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、直轄管理発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。  
※時間経過や対応項目については想定で記載しており、各地域や自治体の体制及び想定する気象経過に応じた検討が必要である。



## 防災豆知識／事前放流の必要性について

- 気候変動の影響による水害の頻発化・激甚化への対応として、これまでの知見や最新の技術を活用し、ソフト・ハード対策の両面から既設ダムを有効活用することの重要性はますます高まっています。

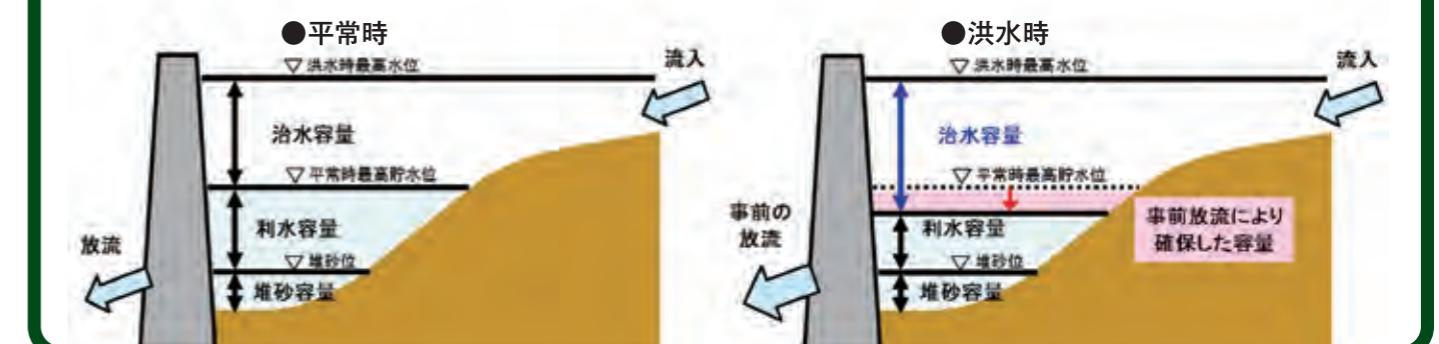
- 既設ダムの有効活用を促進する観点から、洪水発生前に、少しでもダム貯水位を低下させることにより治水容量を拡大し、計画規模を超える洪水等においても洪水調節機能を發揮させ、**ダムに貯留できる容量を確保**する必要があります。

＜事前放流とは＞

- ・予測雨量情報等に基づいて洪水の発生を予測した場合に、事前にダムの貯水位を低下させ、利水容量の一部を治水容量として一時的に活用する操作です。
  - ・実施にあたっては、利水の共同事業者の権利を侵すことのないよ

### ＜治水上の利点＞

- ・確保した容量を活用することにより、ダムに計画規模を超える洪水等を貯留することでダム下流へ流す流量を低減し、ダム下流 河川の水位を低下させ浸水被害の軽減を図ることができます。



# 洪水の被害を最小限におさえる「水防工法」

**準備工法**

ほとんどの水防工法で使用する土のうを、イザという時に備えて準備します。

用意するもの、土のう袋、スコップ、土。

① ② ③

**土のう作り**

土のう袋の7~8割になるように、スコップで6~7杯の土を入れます。袋の端に出てるヒモを引いて、袋の口をしばります。

水位危険度レベル  
レベル5  
レベル4(危険)  
レベル3(警戒)  
レベル2(注意)  
レベル1

**堤防の漏水が発生**

**漏水対策工法①** 川裏から噴き出していく水の勢いを、水の圧力を利用して弱めます。

避難判断水位 8.5m

漏水口を中心、半径1.2m~2mくらいの半円状に土のうを内外2列に積んでいきます。

① ② ③

**月の輪工**

積み重ねた土のうの最上部に、排水用のパイプを取りつけて完成。

水位危険度レベル  
レベル5  
レベル4(危険)  
レベル3(警戒)  
レベル2(注意)  
レベル1

**漏水対策工法②** 川裏から噴き出していく水の勢いを、水の圧力を利用して弱めます。

漏水口を中心、直径2~4m程度の円形に土のうを内外2列に積んでいきます。

① ② ③

**釜段工**

積み重ねた土のうの最上部に、排水用のパイプを取りつけて完成。

**洗掘対策工法**

激しく堤防にあたる水の勢いを弱め、堤防が削られるのを防ぎます。

水の流れでシートがめくれないように竹や土のうを重しとして取りつけた防水シートを準備。併せて、堤防の天端にシートを結ぶ留め杭を打ち込みます。

① ② ③

**シート張り工**

防水シートをロープで留め杭に結束したら、洗掘箇所を覆うように天端から下ろします。

## 堤防天端付近まで水位が上昇

**越水対策工法① 積み土のう**

洪水が堤防の高さを越えて溢れてくるため、堤防の高さをできるだけ高くします。

水位危険度レベル  
レベル5  
レベル4(危険)  
レベル3(警戒)  
レベル2(注意)  
レベル1 沼澤危険水位 9.1m

① ② ③

**越水対策工法① 積み土のう**

川表側の堤防天端の法面から50cm~1m程度引いた箇所に、土のうを川と平行に並べます。(しばり口は下流向き)さらに、2段目、3段目と互い違いに積み、継ぎ目には、土を入れて踏み固めます。

洪水で土のうが崩れないよう、前列の土のうのすぐ後ろ(約30cm)に、控え土のうを2段積みます。前列土のうと控え土のうの間には土を入れて踏み固めます。

土のうを積み終わったら、鋼杭を土のう1袋につき2本の割合で打ち込み、固定して完成。

**越水対策工法② 改良積み土のう**

洪水が堤防の高さを越えて溢れてくるため、堤防の高さをできるだけ高くします。

① ② ③

**月の輪工**

川表側の堤防の端から50cm~1m程度引いた箇所に長さ1.2mの杭を約1m間隔で1列に打ち込みます。

杭の川裏側に、防水シートを張ります。シートの裾は、そのまま堤防の上に広げて敷きます。

シートの上に「土のう積み」と同じように土のうを積んでいきます。

**越水対策工法③ ラバーマット工**

洪水が堤防の高さを越えて溢れてくるため、堤防の高さをできるだけ高くします。

① ②

**釜段工**

水のうを堤防に敷設します。

給水ポンプで水のうに水を注入します。浮き上がりやねじれを防止するために杭で固定し完成。

**堤防決壊!**

**応急復旧工事** 水位の状況を見ながら応急復旧工事を行います。

① ② ③

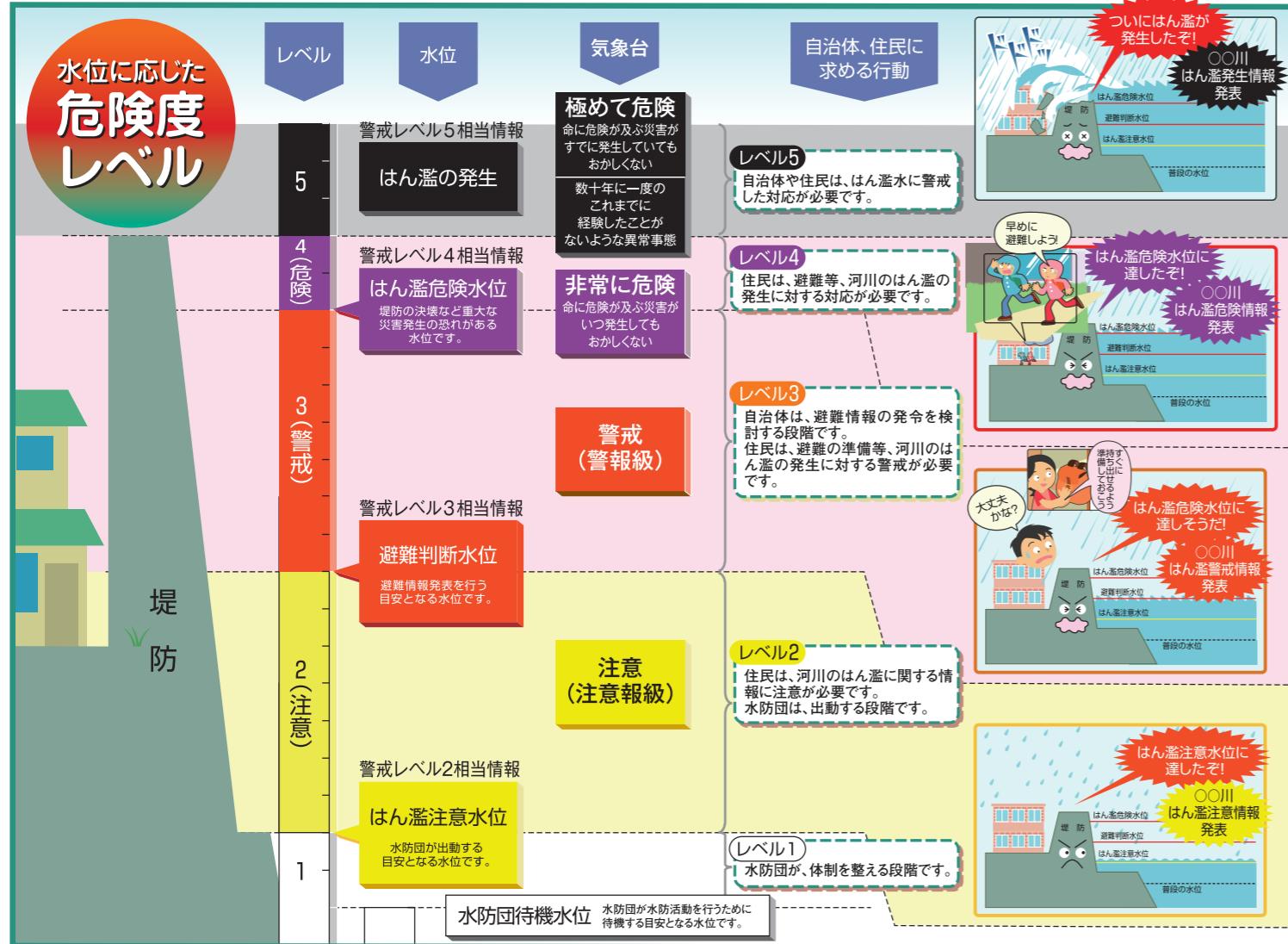
**根固めブロック投入工**

根固めブロックをワイヤーに連結し、クレーンで吊り上げます。

吊り上げた根固めブロックを、川表の洗掘箇所に1個ずつ投入します。

# 国土交通省と気象台が共同発表する洪水予報

国土交通省と気象台では、洪水時にいち早く白川・緑川の直轄区間の状況を地域の皆さんにお知らせし、より安全で、確実な避難や減災等に役立てていただくために、「洪水予報」を発表しています。また、支川については、国または県より河川の「水位情報」や「ライブカメラ映像」を提供しています。大雨や台風の時には、テレビやラジオ、ホームページ等を通して、正確な情報を把握して、的確な行動をとれるようにしてください。(防災情報の入手先は15・16ページと最後のページをご覧ください。)



## 水防活動の指針となる水防警報※の発表基準と内容

対象観測所 水位	大分川		七瀬川	賀来川	大野川		判田川					
	府内大橋	同尻	胡麻鶴	宮苑	鶴崎橋	白滝橋	昆布刈橋					
氾濫危険水位	7.00m	4.80m	4.70m	3.20m	—	8.60m	—					
避難判断水位	6.60m	4.40m	4.20m	2.70m	—	7.40m	—					
氾濫注意水位	3.90m	3.80m	2.80m	2.50m	3.80m	5.40m	2.40m					
水防団待機水位	3.30m	3.20m	2.00m	1.90m	3.00m	4.30m	1.70m					
「警戒」	はん濫注意水位を超え、今後更に増水の恐れがあると思われるとき 避難判断水位に達したとき		はん濫危険水位に達したとき 計画高水位(堤防設計水位)に達したとき		堤防の被災が予見されたとき(漏水・溢水・決壊)							
「出動」	はん濫注意水位に達し、なお上昇の見込みがあるとき											
「準備」	水防団待機水位を超え、はん濫注意水位を突破すると思われるとき											
「待機」	水防団待機水位に達し、はん濫注意水位に達すると思われるとき											

※水防警報とは、水防活動の指針として、河川管理者(国・県)が発表するものです。

# 気象台発表の気象情報

## 「特別警報」とは

気象庁は、平成25年8月30日(金)に「特別警報」の運用を開始しました。

「特別警報」が発表されたら、ただちに地元市町村の避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。

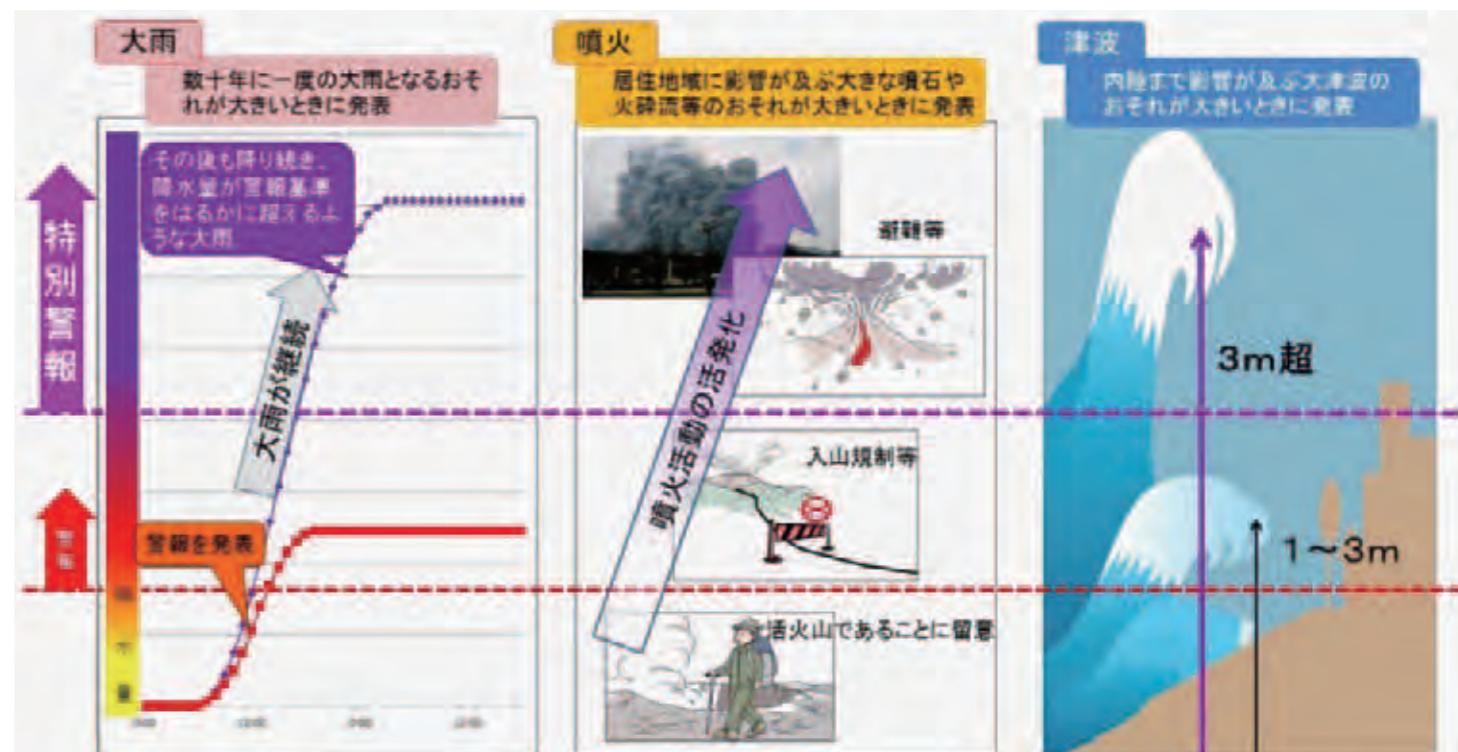
気象庁は、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

特別警報が対象とする現象は、18,000人以上の死者・行方不明者を出した東日本大震災における大津波や、我が国の観測史上最高の潮位を記録し、5,000人以上の死者・行方不明者を出した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらし、100人近い死者・行方不明者を出した「平成23年台風第12号」の大風等が該当します。

特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに地元市町村の避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。

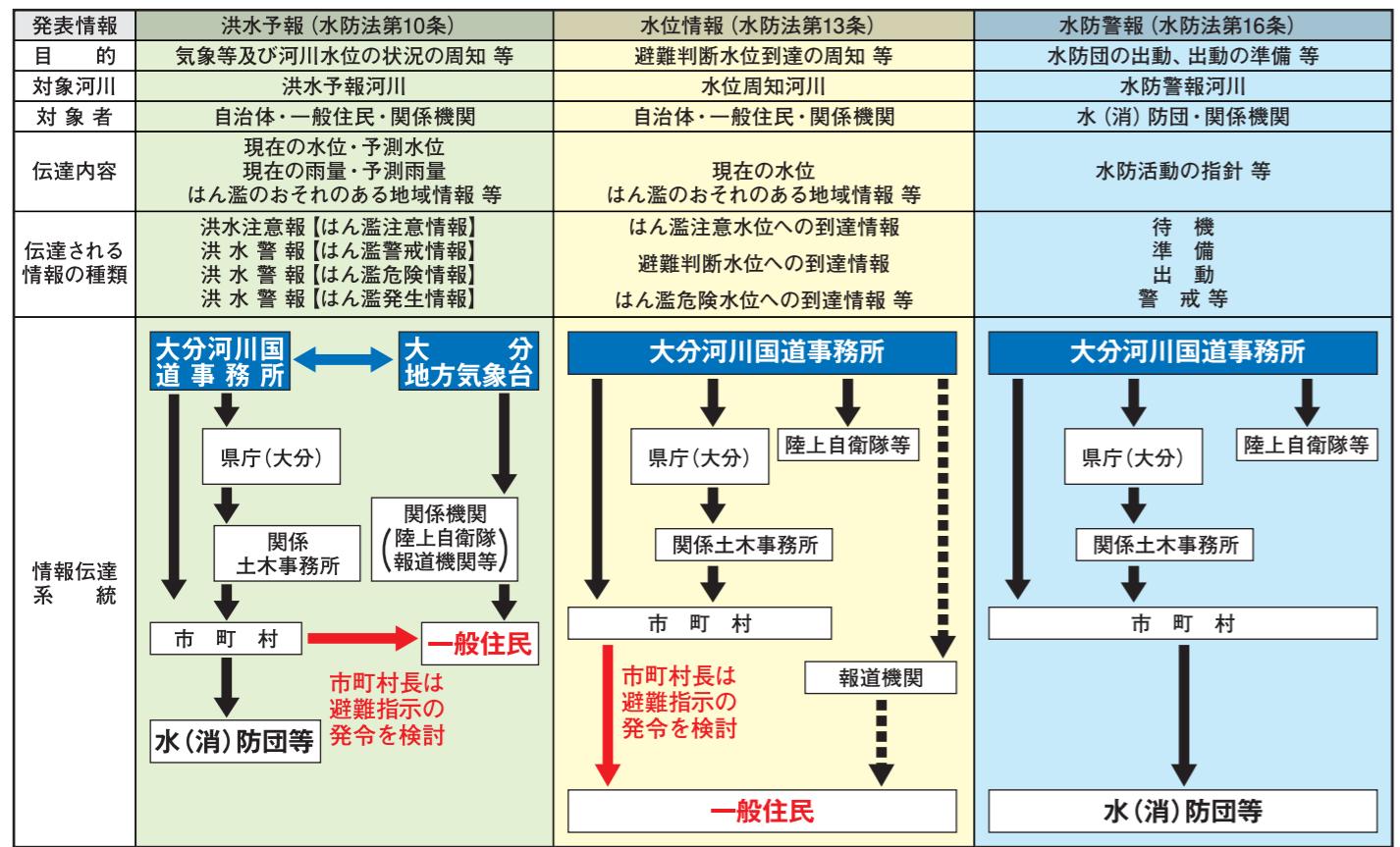
また、大雨特別警報が大雨警報に切り替わった後においても、これまでに降った雨が下流に流れることにより河川の水位が上昇する場合があるため、引き続き河川の増水に対する警戒を続けてください。

## 「特別警報」イメージ



# 防災関係機関で災害情報を共有する仕組みを構築しています。

## 避難や水防活動のための情報伝達の流れ

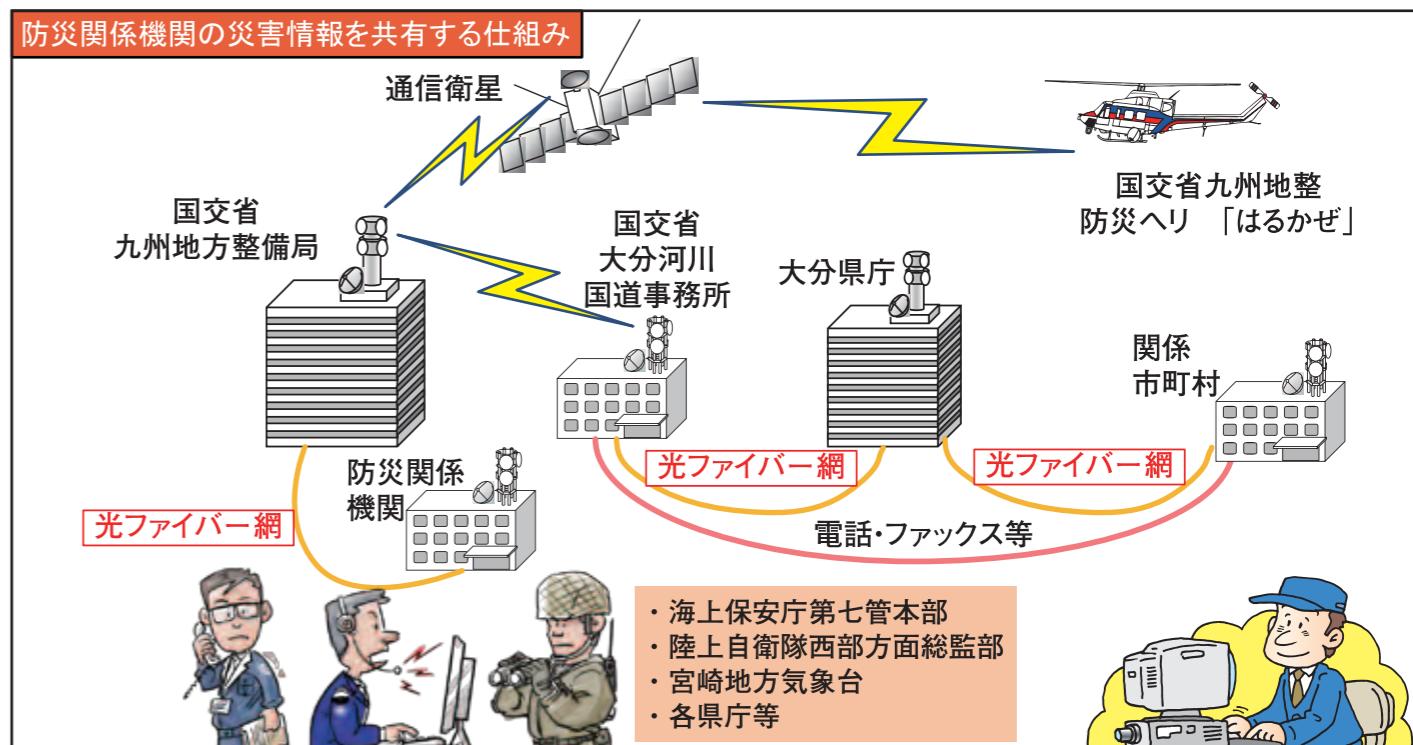


## ハザードマップをご存知ですか。

ハザードマップとは、はん濫による被害を予測し、その被害範囲等を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲や被害の程度、さらには避難経路や避難場所などの情報が載っているので、これを利用することで迅速、的確に避難を行うことができます。ぜひ、ハザードマップを備えておきましょう。

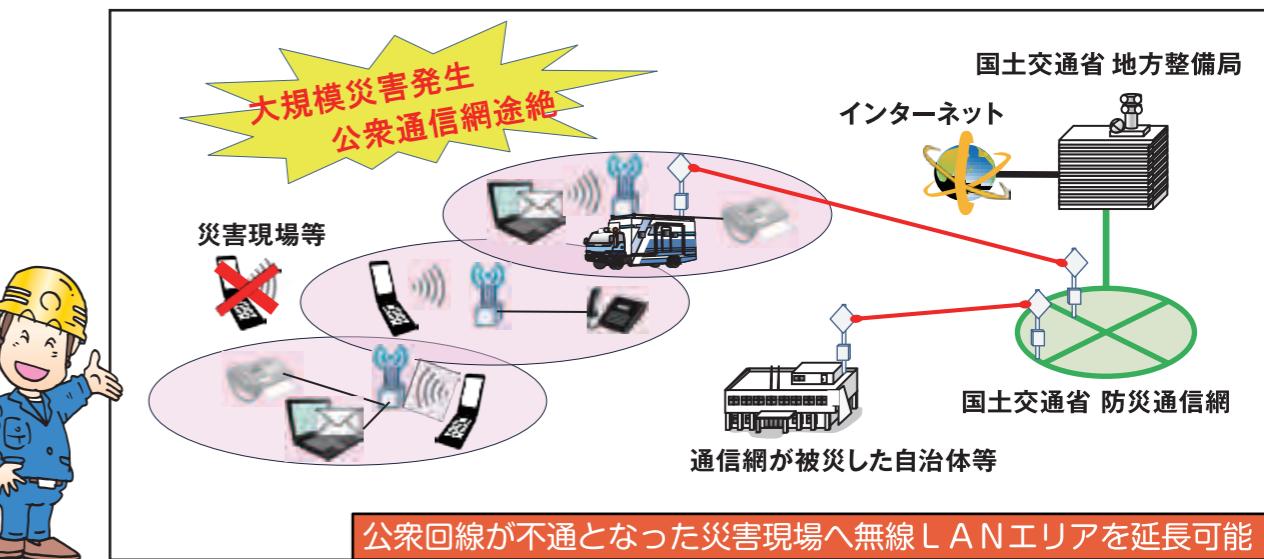


地域の皆さん的安全・安心を確保するためには、河川の整備などのハード対策だけでなく、災害が発生した際に被害を最少にするための防災情報の提供などのソフト対策が重要です。大規模な地震や洪水による被害を極力少なくするためにには、防災を担う多くの組織による横断的な情報の共有に向けた仕組みづくりが必要で、このため、九州地方の防災関係機関が保有する通信回線等を相互に接続・利用できる体制を確立することにより、各機関が有する情報の相互活用を推進し、災害時に皆さんに対して円滑かつ的確な情報提供ができるよう取り組んでいます。



## 災害対策用無線アクセスシステム i-RAS(アイラス)

大規模な災害時に公衆通信網が途絶した状態でも、国土交通省の防災通信ネットワークを利用して、災害現場との映像や音声等のやりとりができます。また必要に応じて公衆通信網に接続して、電話やファックス、インターネット等を利用することができます。（平成23年度から九州地方整備局で整備が進められている通信システムで、災害時に大きな威力を発揮します。）



# 九州地方整備局による水災害情報提供の取り組み

## 地デジによる河川防災情報の提供

NHK総合や民放の地上デジタル放送(データ放送)で河川の水位・雨量情報の提供を行っています。いつでも手軽に河川の水位・雨量の防災情報を入手することが可能です。



## テレビ



## 河川情報アラームメール



【河川情報アラームメール】  
kasenalarm-entry@qsr.mlit.go.jp

空メール送信後、河川情報アラームメールサービスからの登録案内メールを受信します。提供されるのは九州管内の雨量観測所と水位観測所の情報です。

## 九州地方の雨量・水位情報を携帯メールでお知らせします

「川の防災情報」で提供される河川情報を携帯電話のメールでお知らせします。提供される情報は九州管内の雨量観測所と水位観測所です。URLサイトを見なくても広域的な河川情報を受信することができます。

## 雨量・水位が基準値になればメールを受信します

水位の基準値は、計画高水位、はん濫危険水位、避難判断水位、はん濫注意水位、水防団待機水位です。雨量の基準値は気象庁の「警報・注意報発表基準」を用いて、対象となる雨量観測所の基準値とします。

## お好みのアラーム設定が可能

対象とする水位及び雨量観測所の選択はもちろん、基準値の値も任意に設定が可能となります。たとえば、早めにメールを受信したい場合には基準値を低くしたり、逆にメールの配信を減らしたい場合には基準値を高くしたりすることができます。

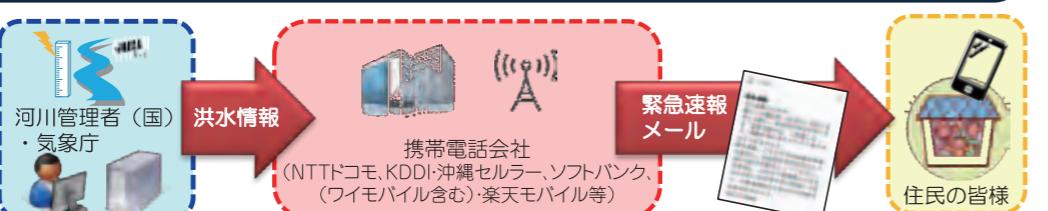
ご登録は  
以下の方法で

空メールの送信  
メールアドレスを直接入力  
もしくは  
右のQRコードを使って

## 携帯電話

## 洪水情報が緊急速報メールで発信されます！

平成30年5月1日から、国が管理する大分川・大野川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、対象の地域にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されるようになりました。



洪水情報の  
プッシュ型配信  
イメージ



## 川の防災情報

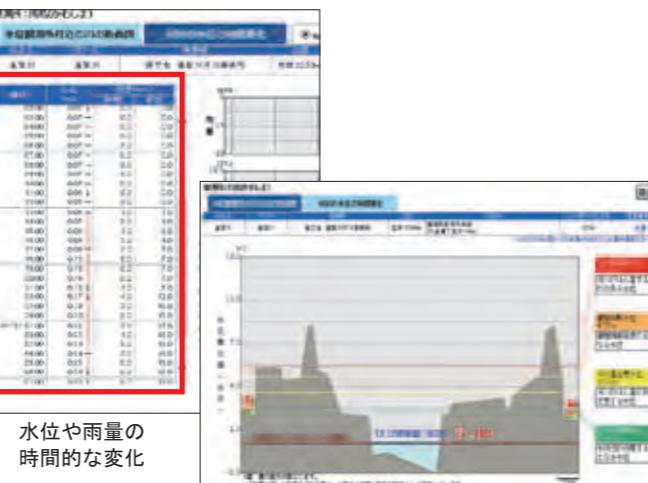
パソコンや携帯電話で、降雨の状況や河川の水位、洪水予報等のリアルタイムの情報を得ることができます。  
(PC) <http://www.river.go.jp> [スマホ] <https://www.river.go.jp/s/>

トップ画面 トップ画面のメニューからさまざまな川に関する情報を確認することができます。



## 川の水位・雨量

川の現在の水位や雨量、時間的な変化を確認できます。また、水位と横断図の関係より危険度を把握できます。



## カメラの画像

お近くの現在の川の様子をカメラ画像により確認することができます。

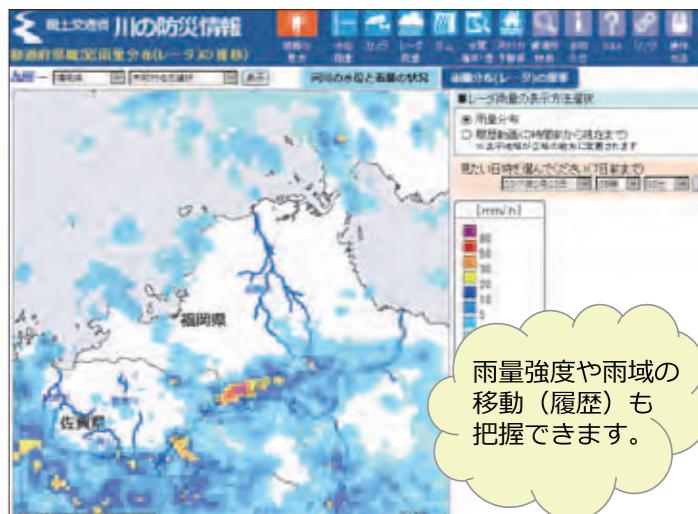


## パソコン・スマホ

カメラ	川沿いに設置されたカメラのライブ画像
ダム	ダムの放流状況、ダム放流通知の発表状況、許水位、流入量、放流量等のデータ等
水質	川や湖沼の水質状況、基準値を超えている場所等
津波	波高、最大波、1/3有義波、潮位、風速のデータ等
積雪深	積雪深等

## レーダ雨量

周辺地域の雨域や雨雲の状況をレーダ雨量により確認できます。(Cバンド、XРАN)



## 「川の防災情報」のスマート版が登場！

スマートフォンでも手軽に河川情報を入手できます。GPS機能により現在地周辺の情報も確認できます。



# 特別警報・警報・注意報の種類

気象台は、気象現象などにより災害の起こるおそれがあると予想されるとき「注意報」を、重大な災害が起こるおそれがあるときには「警報」を、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときには「特別警報」を発表し、災害に対する注意・警戒を呼びかけます。

## 特別警報の種類と概要

種類	概要
大雨特別警報	大雨が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項を明記します。
大雪特別警報	大雪が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。
暴風特別警報	暴風により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。
暴風雪特別警報	雪を伴う暴風により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。
波浪特別警報	高い波が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。
高潮特別警報	台風や低気圧等による海面の異常な上昇が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きいときに発表します。

## 警報の種類と概要

種類	予想される重大な被害	概要
大雨警報	山がけ崩れ、土石流、地滑り、家屋の流失や浸水、道路や耕地の浸水や冠水、陸上交通の障害等	大雨による重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。 大雨警報には、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項を明記します。
洪水警報	家屋の流失や浸水、道路や耕地の冠水、陸上交通の障害等	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
暴風警報	家屋の損壊、農作物の損傷や落果、停電、陸上・海上・空の交通障害等	暴風により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
波浪警報	船舶被害、漁業施設や海岸施設の破損、海上交通の障害等	高い波により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
高潮警報	家屋の流失や浸水、船舶被害、漁業施設や海岸施設の破損等	台風や低気圧等による海面の異常な上昇により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
大雪警報	陸上・空の交通障害、農作物の損傷等	大雪により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
暴風雪警報	家屋の損壊、農作物の損傷や落果、停電、陸上・海上・空の交通障害等	雪を伴う暴風により重大な災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。

## 注意報の種類と概要

種類	予想される被害	概要
大雨注意報	がけ崩れ、陸上交通の運休、低地にある家屋の浸水等	大雨による災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
洪水注意報	中小河川の氾濫、低地にある家屋の浸水等	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
強風注意報	陸上・海上・航空交通の運休や欠航、簡易建物などの破損等	強風により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
波浪注意報	小型船舶などの被害、海上交通の欠航等	高い波により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
高潮注意報	低地にある家屋の浸水等	台風や低気圧等による海面の異常な上昇により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
大雪注意報	陸上交通の運休や一時不通等	大雪により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
風雪注意報	陸上・海上・航空交通の運休や欠航、簡易建物などの破損等	雪を伴う強風により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる災害」のおそれについても注意を呼びかけます。
雷注意報	停電、火災、ひょう、突風害等	落雷により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。また、発達した雷雲の下で発生することの多い竜巻等の突風や「ひょう」による災害の注意喚起を付加することもあります。急な強い雨への注意についても雷注意報で呼びかけます。
乾燥注意報	山林や家屋の火災等	空気の乾燥により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。具体的には、火災の危険が大きい気象条件を予想した場合に発表します。
濃霧注意報	陸上・海上・航空交通の運休や欠航等	濃い霧により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
霜注意報	農作物の損傷等	霜により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。具体的には、早霜や晩霜により農作物への被害が起こるおそれのあるときに発表します。
なだれ注意報	人の遭難等	「なだれ」により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。
低温注意報	農作物の損傷、水道管の凍結や破裂等	低温により災害の起こるおそれがあると予想されたときに発表します。具体的には、低温のために農作物などに著しい被害が発生したり、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害の起こるおそれがあるときに発表します。
着氷・着雪注意報	通信線や送電線の損傷、停電、通信の途絶等	着氷・着雪が著しく、通信線や送電線等に被害が予想されたときに発表します。

